

神奈川県立津久井支援学校 有識者による評価

今年度の学校運営全般について、有識者による評価を受けました。

開催日時	令和8年3月3日(火)9時30分～11時30分
開催場所	神奈川県立津久井支援学校 2階 進路相談室
出席者	学校運営協議会学識経験者2名 事務局9名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育計画(令和6年度策定) グランドデザイン ・令和7年度 学校評価報告書 ・学校運営協議会活動状況報告書(令和7年度) ・学校評価 保護者・教員・生徒アンケート集計結果 ・令和7年度研究公開配付資料 ・つくいだより 2月号 ・教育課程の見直し(保護者通知) ・衛生委員会の取組
議事録	<p>○ 学校目標の達成状況および課題・改善方法等に関して、次の視点で意見交換がされた。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 研究公開当日の「教員同士の学び合い」について (2) 地域の学校との交流、インクルーシブ教育のとらえ方について (3) 地域資源を活かす取組について (4) 通学・生活圏の理解について (5) 個別教育計画の目標設定・評価への本人参加について (6) 進路指導・卒業後の支援について (7) 地域との連携・センター的機能について (8) 働き方改革・職員の勤務環境 (9) 情報発信について
有識者による評価 (第三者の視点)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体が児童・生徒一人ひとりの思いや願いといった「意思」を大切に、それらを個別教育計画に反映させることで、児童・生徒の取組への意欲や主体性を引き出すことに繋がっていることは高く評価できる。今後もアセスメントに基づく課題設定や支援方法など、更なる職員の専門性向上を図ることを期待したい。 ・共生社会の実現に向け、地域の学校等や地域住民との協働による教育活動を展開しながら、学校間交流や居住地交流を深める取組に尽力されていることは高く評価できる。今後も児童・生徒に地域の伝統や産業を大切にするを伝えながら、地域資源を活用した教育活動を展開してほしい。 ・今年度は、異動教職員が比較的多かったと聞いていたが、新たに加わった教職員も含め、学校の経営・運営方針については浸透していたのではないかと考える。特に、継続して研究に取り組んでいるICT機器の利活用については、地域との協働的な学習と関連付けながら各学部で積極的に取り組んでいた。その取組の様子や研究成果等を更に、効果的・効率的に校内外へ発信・周知・共有することを期待する。 ・今後も、学校の置かれた「地域」をどのようにとらえ、児童・生徒の学びにつなげていくかを、協議会と共に考え、進めてほしい。